

令和 8 年 4 月 2 0 日

交 通 事 故 概 況

令和 8 年 3 月 末 計 上 数 (確 定 数)

警 察 本 部 交 通 部 交 通 企 画 課

北海道の交通事故概況（3月末計上数（確定数））

1 令和8年3月末の交通事故発生状況

区分\内容	3月中		3月末	
		前年比		前年比
発生件数（件）	796	118	2,599	548
死者数（人）	7	0	16	-16
傷者数（人）	951	128	3,098	684

[過去10年、3月末の推移]

区分\年別	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	過去平均		R8年
												10か年	
3月中死者数	8	13	6	10	9	8	2	4	3	7	7	5	7
3月末死者数	29	23	33	19	26	24	17	20	12	32	24	21	16
年間死者数	158	148	141	152	144	120	115	131	104	129	134	120	

都道府県別（3月中）

順位	1	2	3	4
都道府県名	神奈川県	東京都	兵庫県	愛知県
死者数	14	13	12	11

都道府県別（3月末）

順位	1	2	3	5	13
都道府県名	神奈川県	愛知県	兵庫県	東京都	大阪府
死者数	40	38	32	32	31

2 交通死亡事故の発生状況（主なもの）

(1) 3月中の死亡事故（死者7人）

- 事故類型別：人対車両、車両単独が各々3人(42.9%)
- 道路別：国道が4人(57.1%)
- 地形・道路形状別：市街地交差点、市街地直線が各々2人(28.6%)
- 発生時間別：4～6時、6時～8時、8～10時が各々2人(28.6%)
- 第一当事者違反別：操作不適、前方不注意が各々2人(28.6%)
- 死者年齢別：高齢者の死者が4人(57.1%)

(2) 3月末の死亡事故（死者16人）

- 事故類型別：
 - ・人対車両が8人50.0%（うち歩行者妨害、前方不注意が各々3人37.5%）
 - ・車両単独が4人25.0%（うち安全速度が2人50.0%、操作不適、前方不注意が各々1人25.0%）
- 道路別：
 - ・国道が5人31.3%（うち人対車両、車両単独が各々2人40.0%）
 - ・道道が5人31.3%（うち人対車両が2人40.0%、車両単独が1人20.0%）
- 地形・道路形状別：
 - ・市街地交差点が6人37.5%（うち人対車両が4人66.7%）
 - ・市街地直線が3人18.8%（うち人対車両が2人66.7%、車両単独が1人33.3%）
 - ・非市街地直線が3人18.8%（うち人対車両2人66.7%、踏切事故が1人33.3%）
- 発生時間別：
 - ・8～10時が4人25.0%（うち人対車両、正面衝突、出会い頭、車両単独が各々1人25.0%）
- 第一当事者年齢別：
 - ・50歳代運転者による死者が4人25.0%（うち人対車両が2人50.0%、車両単独、踏切事故が各々1人25.0%）
 - ・高齢運転者による死者が4人25.0%（うち車両単独が2人50.0%、人対車両、正面衝突が各々1人25.0%）
- 第一当事者違反別：
 - ・前方不注意によるものが5人31.3%（人対車両が3人60.0%、車両単独、踏切事故が各々1人20.0%）
 - ・歩行者妨害が3人18.8%（うち人対車両が3人100.0%）
- 死者年齢別：
 - ・高齢者の死者が9人56.3%（うち人対車両が5人55.6%、車両単独が2人22.2%）
 - ・50歳代の死者が3人18.8%（うち車両単独が2人66.7%、踏切事故が1人33.3%）
- シートベルト非着用者：
 - 自動車（二輪を除く）乗車中の死者8人中、シートベルト非着用者は5人(62.5%)であり、その4人(80.0%)がシートベルトを着用していれば助かった可能性が高い。

(3) 方面別発生状況

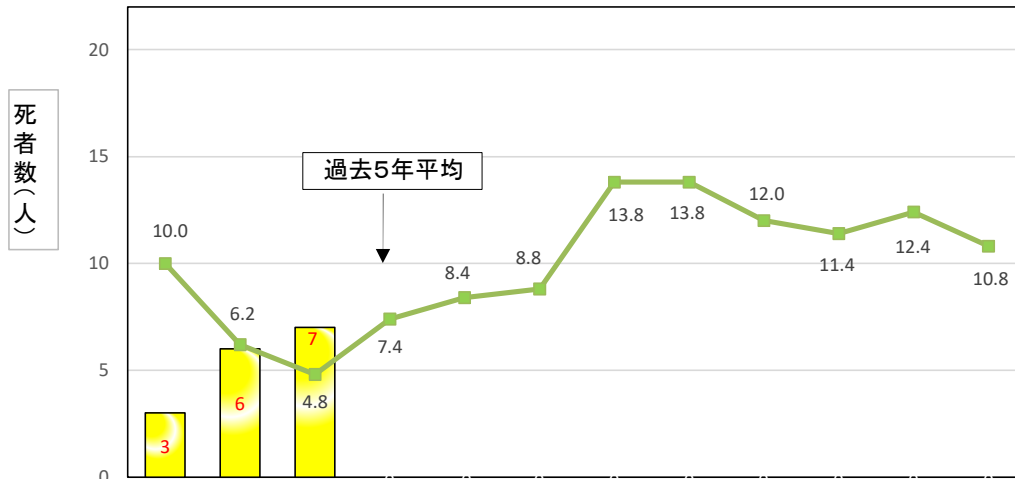
3月中の死者数は、札幌方面が3人(42.9%)、旭川方面が2人(28.6%)、函館方面、北見方面が各々1人(14.3%)となっている。
 3月末の死者数は、札幌方面が6人(37.5%)、釧路方面4人(25.0%)、旭川方面が3人(18.8%)、函館方面2人(12.5%)、北見方面が1人(6.3%)となっている。

方面別\区分	発生件数		死者数		傷者数		
		前年比		前年比		前年比	
3月中	全道	796	118	7		951	128
	札幌方面	625	122	3	-1	750	149
	函館方面	42	-1	1	1	51	-6
	旭川方面	67	-3	2	2	81	-4
	釧路方面	43	1		-2	46	-8
	北見方面	19	-1	1		23	-3

方面別\区分	発生件数		死者数		傷者数		
		前年比		前年比		前年比	
3月末	全道	2,599	548	16	-16	3,098	684
	札幌方面	1,991	492	6	-10	2,388	633
	函館方面	141	6	2		178	7
	旭川方面	261	52	3		303	54
	釧路方面	149	-8	4	-4	165	-14
	北見方面	57	6	1	-2	64	4

(4) 月別発生状況の推移

3月中の死者数は7人で過去5年平均4.8人を上回っている。
 3月末の死者数は16人で過去5年平均21.0人を下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和7年	3	6	7										16
年間累計	3	9	16										
過去5年平均	10.0	6.2	4.8	7.4	8.4	8.8	13.8	13.8	12.0	11.4	12.4	10.8	119.8
累計平均	10.0	16.2	21.0	28.4	36.8	45.6	59.4	73.2	85.2	96.6	109.0	119.8	

(5) 都道府県別死者数

3月中は神奈川県が14人で最も多く、次いで東京都が13人、兵庫県が12人、愛知県、三重県が各々11人、北海道は7人で13位となっている。
 3月末は神奈川県が40人で最も多く、次いで愛知県38人、東京都と兵庫県が32人で大阪府が31人、北海道は16人で13位となっている。

区分\都道府県	神奈川	東京	兵庫	愛知	三重	千葉	茨城	福岡	栃木	熊本	全国	北海道
3月中死者数	14	13	12	11	11	10	8	8	7	7	207	7
ワースト順位	1	2	3	4	4	6	7	7	9	9	-	9
前年比	4	-1	6	1	5	0	6	1	0	7	16	0
増減率(%)	40.0	-7.1	100.0	10.0	83.3	0.0	300.0	14.3	0.0	0.0	8.4	0.0

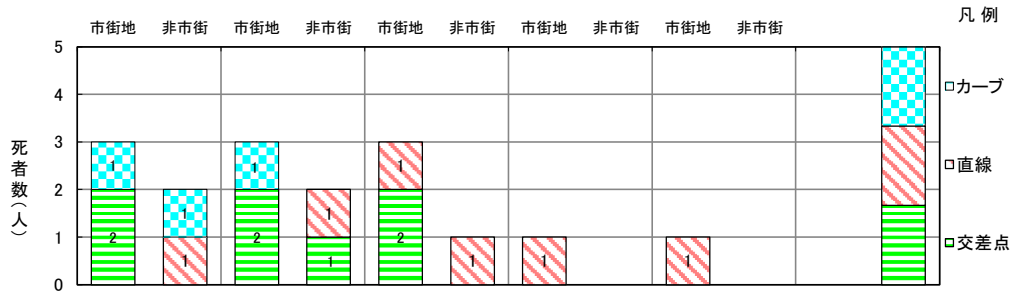
区分\都道府県	神奈川	愛知	兵庫	東京	大阪	千葉	茨城	福岡	静岡	埼玉	全国	北海道
3月末死者数	40	38	32	32	31	30	29	24	22	19	596	16
ワースト順位	1	2	3	3	5	6	7	8	9	10	-	13
前年比	-3	13	9	-3	5	-5	9	1	1	-12	-18	-16
増減率(%)	-7.0	52.0	39.1	-8.6	19.2	-14.3	45.0	4.3	4.8	-38.7	-2.9	-50.0

3 3月末の死亡事故の特徴

(1) 道路別

国道、道道が各々5人(31.3%)となっている。

- ・ 国道は、市街地交差点が2人(40.0%)、市街地カーブ、非市街地直線、非市街地カーブが各々1人(20.0%)
- ・ 道道は、市街地交差点が2人(40.0%)、市街地カーブ、非市街地交差点、非市街地直線が各々1人(20.0%)

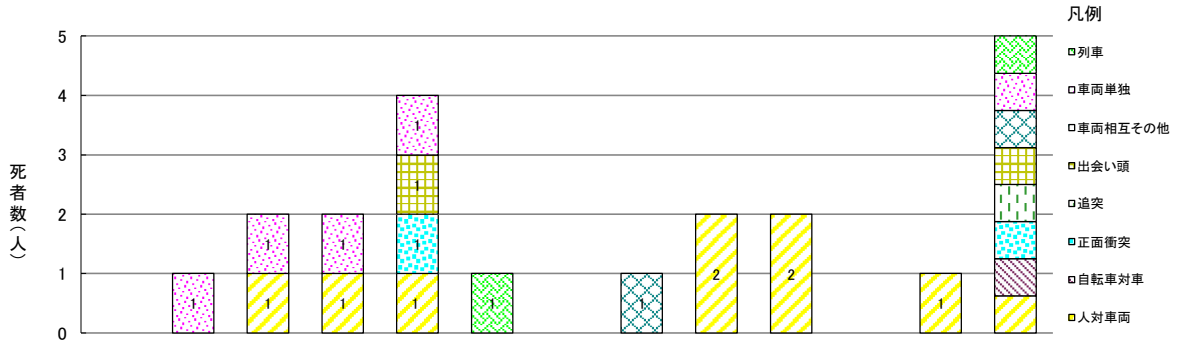


区分\道路別	国道	道道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死者数	5	5	4	1	1	16
構成率(%)	31.3	31.3	25.0	6.3	6.3	100.0
過去5年構成率	35.2	29.5	26.7	3.8	4.8	100.0

(2) 時間別

8～10時が4人(25.0%)となっている。

- ・ 8～10時は、人対車両、正面衝突、出会い頭、車両単独が各々1人(25.0%)

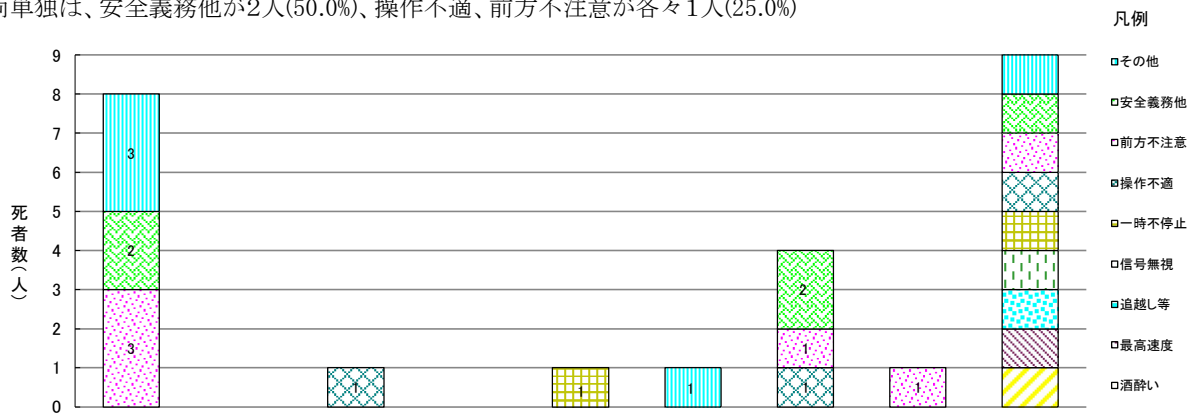


区分\時間別	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	計
死者数		1	2	2	4	1		1	2	2		1	16
構成率(%)		6.3	12.5	12.5	25.0	6.3		6.3	12.5	12.5		6.3	100.0
過去5年構成率	1.9	1.9	8.6	8.6	9.5	13.3	14.3	8.6	12.4	11.4	4.8	4.8	100.0

(3) 事故類型別

人対車両が8人(50.0%)、車両単独が4人(25.0%)となっている。

- ・ 人対車両は、前方不注意、その他(歩行者妨害を含む)が各々3人(37.5%)
- ・ 車両単独は、安全義務他が2人(50.0%)、操作不適、前方不注意が各々1人(25.0%)



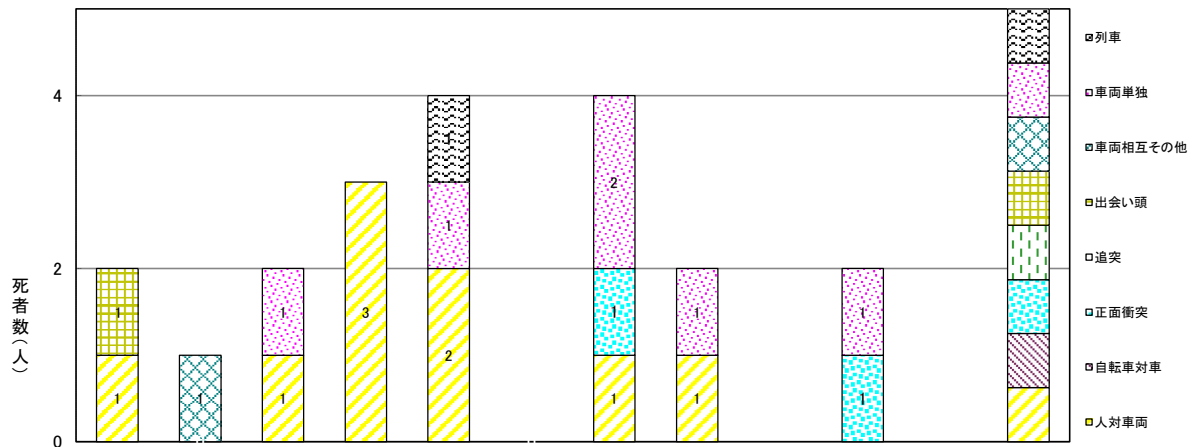
区分\類型別	人対車両	自転車対車	車両相互				車両単独	列車	計
			正面衝突	追突	出会い頭	その他			
死者数	8		1		1	1	4	1	16
構成率(%)	50.0		6.3		6.3	6.3	25.0	6.3	100.0
過去5年構成率	30.5	1.9	27.6	1.9	12.4	4.8	20.0	1.0	100.0

(4) 第一当事者の年齢層別:

50歳代の運転者、高齢運転者が各々が4人(25.0%)

- ・ 50歳代運転者は、人対車両が2人(50.0%)、車両単独、踏切事故が各々1人(25.0%)
- ・ 高齢運転者は、車両単独が2人(50.0%)、人対車両、正面衝突が各々1人(25.0%)

凡例



区分\年齢別	25歳未満	25~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	高齢者	65-69歳	70-74歳	75歳以上	歩行者等・不明	計
死者数	2	1	2	3	4		4	2		2		16
構成率(%)	12.5	6.3	12.5	18.8	25.0		25.0	12.5		12.5		100.0
過去5年構成率	3.8	4.8	8.6	21.9	15.2	5.7	36.2	13.3	7.6	15.2	3.8	100.0

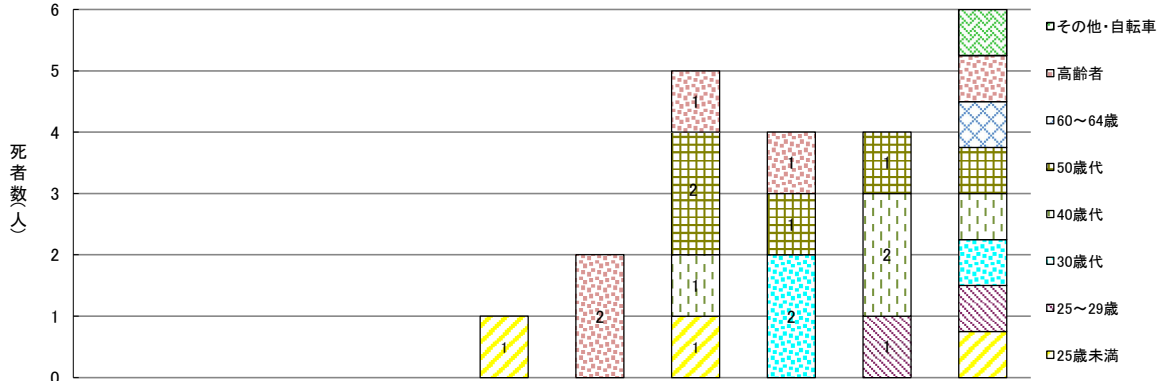
構成率は全死者に対する割合

(5) 第一当事者の違反

前方不注意5人31.3%、安義その他、その他(歩行者妨害を含む)が各々4人25.0%となっている。

- ・ 前方不注意は、50歳代運転者による死者が2人(40.0%)、若年運転者、40歳代運転者、高齢運転者が各々1人(20.0%)
- ・ 安義その他は、30歳代運転手による死者が2人(50.0%)
- ・ その他(歩行者妨害を含む)は、40歳代運転手による死者が2人(50.0%)

凡例



区分\原因別	酒酔い	最高速度	追越し等	信号無視	一時不停止	安全運転義務違反			その他	計
						操作不適	前方不注意	その他		
死者数					1	2	5	4	4	16
構成率(%)					6.3	12.5	31.3	25.0	25.0	100.0
過去5年構成率		3.8	1.9	3.8	5.7	20.0	29.5	15.2	20.0	100.0

(6) 地形・道路形状別

市街地交差点が6人(37.5%)、市街地直線、非市街地直線が各々3人(18.8%)となっている。

- ・ 市街地交差点は、人対車両が4人(66.7%)
- ・ 市街地直線は、人対車両が2人(66.7%)、車両単独が1人(33.3%)
- ・ 非市街地直線は、人対車両が2人(66.7%)、踏切事故が1人(33.3%)

凡例

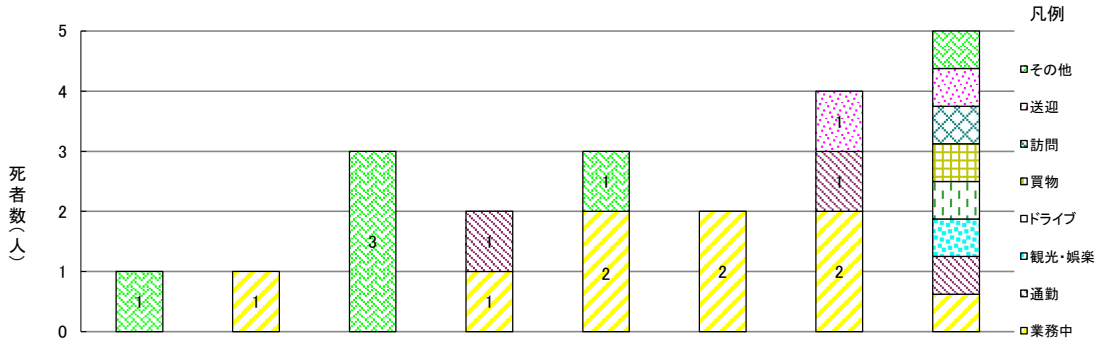


地形道路形状別 区分\	市街地				非市街地				計
	交差点	直線	カーブ	小計	交差点	直線	カーブ	小計	
死者数	6	3	2	11	1	3	1	5	16
構成率(%)	37.5	18.8	12.5	68.8	6.3	18.8	6.3	31.3	100.0
過去5年構成率	27.6	15.2	5.7	48.6	12.4	30.5	8.6	51.4	100.0

(7) 曜日別

土曜日が4人(25.0%)、火曜日、木曜日が各々3人(18.8%)、となっている。

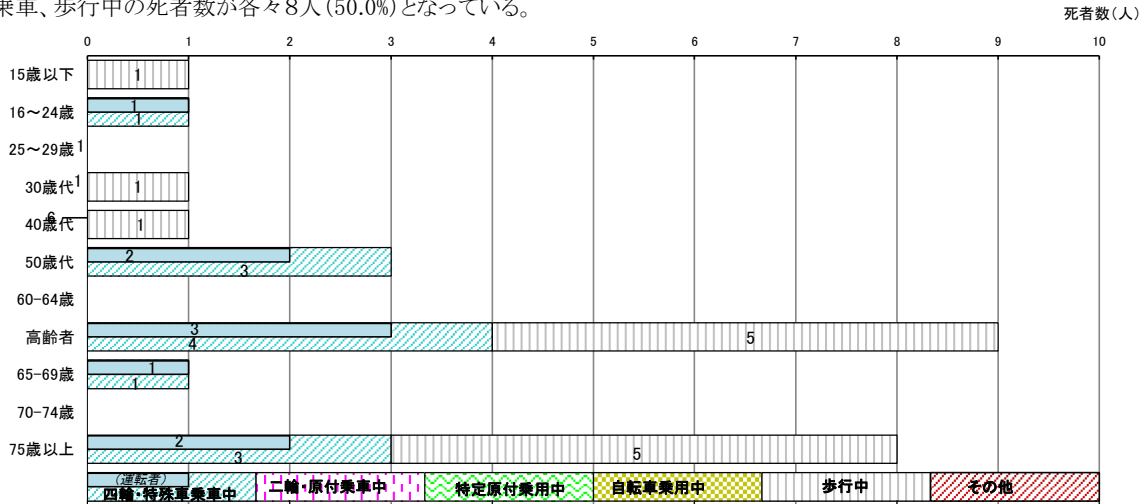
- ・ 土曜日は、業務中が2人(50.0%)、通勤、送迎が各々1人(25.0%)
- ・ 火曜日は、通院が2人(66.7%)
- ・ 木曜日は、業務中が2人(66.7%)



区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	1	1	3	2	3	2	4	16
構成率(%)	6.3	6.3	18.8	12.5	18.8	12.5	25.0	100.0
過去5年構成率	11.4	17.1	19.0	10.5	13.3	16.2	12.4	100.0

(8) 状態別・年齢層別

年齢層別死者数では、高齢者の死者が9人(56.3%)、50歳代の死者が3人(18.8%)となっている。四輪乗車、歩行中の死者数が各々8人(50.0%)となっている。



状態別 年齢層別	死者数	四輪乗車中 (特殊車を含む)	二輪乗車中 (一般原付を含む)	特定原付乗車中	自転車乗車中	歩行中	その他	計		
								構成率	5年構成率	
15歳以下	1	0	0	0	0	1	0	1	6.3	1.0
16~24歳	1	1	0	0	0	0	0	1	6.3	1.9
25~29歳	1	0	0	0	0	1	0	1	6.3	1.0
30歳代	1	0	0	0	0	1	0	1	6.3	9.5
40歳代	1	0	0	0	0	1	0	1	6.3	11.4
50歳代	3	2	1	0	0	0	0	3	18.8	11.4
60~64歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7.6
高齢者	9	3	1	0	0	5	0	9	56.3	56.2
65~69歳	1	1	0	0	0	0	0	1	6.3	14.3
70~74歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9.5
75歳以上	8	2	1	0	0	5	0	8	50.0	32.4
計	死者数	8	0	0	0	8	0	16	100.0	—
	構成率	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0	—	—
	過去5年構成率	62.9	1.9	0.0	0.0	1.9	31.4	1.9	100.0	—

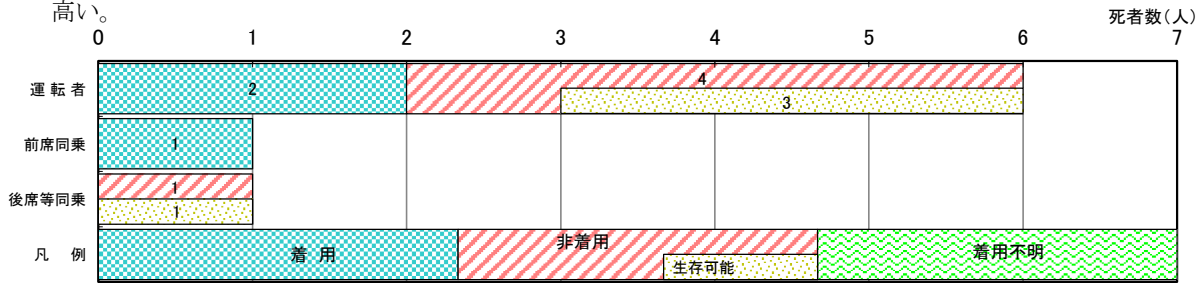
注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

四輪乗車中の死者8人中、シートベルト非着用者は5人(62.5%)となっている。

非着用者の5人のうち4人(80.0%)は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。



状態別 区分	四輪乗車中等	着用			計	非着用			着用不明
		計	運転者	同乗者 助手席 後部席		計	運転者 生存可能	同乗者(助手席) 生存可能	
令和7年	8	3	2	1	5	4	3	1	1
構成率(%)	100.0	37.5	66.7	33.3	62.5	80.0	75.0	20.0	100.0

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、高齢者が3人(60.0%)、50歳代が2人(40.0%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	その他・不明	計
ヘルト着用	1				1		1			1		3
構成率(%)	33.3				33.3		33.3			33.3		100.0
ヘルト非着用					2		3	1		2		5
構成率(%)					40.0		60.0	20.0		40.0		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者5人の損傷加害部位をみるとハンドル2人(40.0%)、車外放出、ドア・窓、座席が各々1人(20.0%)となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	Fガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	室内他	シートベルト	他・不明	計
ヘルト着用			1						1	1			3
構成率(%)			33.3						33.3	33.3			100.0
ヘルト非着用	1		2			1			1				5
構成率(%)	20.0		40.0			20.0			20.0				100.0
運転者	1		2			1							4
構成率(%)	20.0		40.0			20.0							80.0
同乗者									1				1
構成率(%)									20.0				20.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ヘルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用者の合計数に対する割合。

4 冬型交通死亡事故の発生状況(計上月基準)

冬型事故の令和6年度及び7年度(ここでは令和6年11月～令和8年2月)の計上は次のとおり。

年度区分		死者数 (死者数 人)					
		11月	12月	1月	2月	3月	計
令和7年度	死亡事故	13	13	3	6	7	42
	冬型事故	3	5	1		1	10
	スリップ	3	5	1		1	10
	視界不良						
	わだち						
令和6年度	死亡事故	6	13	16	9	7	51
	冬型事故	1	5	2	5	2	15
	スリップ	1	5	2	4	2	14
	視界不良						
	わだち				1		1